

## ご挨拶

教頭 鶴田 葉月

「2月のご挨拶」



春のルルドは、かぐわしい紅梅・白梅と、メジロのにぎやかなさえずりにあふれています。高等学校玄関に入ると、絹の衣装に、漆塗りのお道具の数々…。七段飾りのお雛様が、誇らしげに、お客様を迎えます。飾り付け

の日に、たまたま母校を訪れたこども教育進学コースの卒業生が、随身に烏帽子を被せて弓矢を持たせ…と、時間をかけて丁寧に作業を手伝ってくれました。

さて、3月の卒業式で生徒たちの胸元を飾るコサージュは、毎年、在校生が手作りしています。幅広リボンに鉛筆で型をとって、裁ちばさみを使って切りわけます。ボンドは薄く塗るのがコツ。最後に小さな銀のリボンを結ぶのも手作業と聞くと、その一つひとつの工程を想像して、コサージュが愛おしく感じられます。

3年生にとって、高校生活は新型コロナウイルス感染症の流行と共に始まりました。できる限りの工夫で対策しながら、それぞれの行事に取り組みました。コロナは様々な変異株が報告され、引き続き対策が欠かせない状況ではあるものの、卒業式は、保護者の皆様を会場にお招きしての式典となる予定であり、職員一同、喜びを持って準備を進めているところです。卒業に先立って行われる2月27日の静修会は、牧山強美神父様にご指導を仰ぎながら、海星での高校生活を振り返り、感謝と希望を胸に刻みま

受験シーズン真っ只中、3年生は、各自の進路目標に沿って、チャレンジを続けています。3年間の地道な努力が実り、それぞれの希望が叶うよう祈ります。本校でも、専願入試・前期入試・後期入試が終了しました。会場づくりや当日の案内など、選ばれた3年生と部活動生が大いに活躍してくれました。美しい校舎と先輩の暖かな笑顔で、中学生も安心して受験できたにちがいありません。受験生は、数ある高校の中から海星を選んでくれました。私たち職員一同は、この出会いに心から感謝します。そして、生徒が多くを学んで成長し、充実感のうちに、“海星を選んでよかった”と言って卒業できるよう、マリア様のお恵みを願いながら、心を込めて指導してまいります。

2月7日の講堂朝礼では、シスター入江が「受け継ぐ」というテーマで、揺るがない軸を持った生き方についてお話してくださいました。そのとき引用された「かなえられない祈りはない(無名兵士の祈り)」という詩は、「大きなことを成し遂げるために力を与えてほしいと神に求めたのに、謙遜を学ぶようにと、弱さを授かった。」で始まり、「私は、あらゆる人の中で、もっとも豊かに祝福されたのだ。」としめくくられます。しみじみと幸福を感じ、心に残る詩です。ホームページでご紹介していますので、ぜひ、ご家族でお読みいただければと思います。



## 生徒会長より

井上 柚

第12期生徒会執行部からバトンを受け継ぎ、マリア様のお導きの元、招かれた12名により第13期生徒会執行部が発足しました。新体制となり早速、12月3日にはクリスマス助け合い街頭募金、1月21日には卒業生と新入生のためのコサージュ作製の企画・運営を行いました。どちらも大切な海星の伝統行事です。生徒会執行部は、皆さんの活動がコロナ禍の中でも円滑に行えるよう話し合いを重ね、準備をしてまいりました。

クリスマス助け合い街頭募金では紛争や災害、貧困や格差で不安や悲しみの中にいるすべての方々が少しでも温かい気持ちになり、希望をもって過ごしていくことができるよう「すべての人にクリスマスを」と願い、天神や大橋駅で募金を呼びかけました。小さい子どもからお年寄りまでたくさんの方々が私たちの声に耳を傾け、足を止めてくださいました。集められた募金は、マリアの宣教者フランシスコ修道会を通して、主に世界の貧しい子ども達の福祉、医療のために使われます。皆さんもこの募金活動を機に、病で苦しんでいても十分な治療を受けることができない方、お腹が空いていても満足に食事を取ることができない方…貧困ゆえに亡くなっていく方が世界には多くいるという現状を知ったのでは



ないでしょうか。今私たちがこうして何不自由なく生活できること、海星で学ぶことができることに感謝し、支援が必要な

方々のために、私たちができることをこれからも精一杯やっていきましょう。この日には、多くの保護者や卒業生、地域の方々も応援に駆けつけてくださいました。寒い中でしたが、わざわざ天神や大橋に足をお運びいただき、募金をしていただきましてありがとうございました。皆様の募金と温かいお言葉が、私たちにとって大きな力となりました。感謝申し上げます。



先日は、1・2年生でコサージュ作製を行いました。2年生は今までお世話になった3年生の先輩方に感謝の気持ちをこめて赤のコサージュ

ユを、1年生は新しく入ってくる新入生に歓迎の気持ちを込めてピンクのコサージュを作りました。難しい工程もあったかと思いますが、皆さんが一つ一つ丁寧に心を込めて作っている姿を見て、私もとても嬉しかったです。この心からのプレゼントは当日、卒業生と入学生の胸元を美しく飾ることでしょう。また式当日は、卒業生と新入生のために、心のこもったお祈りと聖歌、温かい拍手を在校生一同で贈りましょう。



2月には探究発表会や伝統を受け継ぐ式、3月には卒業式やキリスト教学校フェア等があり、生徒会執行部

は準備を進めているところです。これからも先輩方が今まで築いて来られた海星の素晴らしい伝統を守りつつ、一人ひとりが輝き、生き生きとした学校生活を送れるように、生徒会執行部は頑張ります。全校生徒と生徒会執行部が一致団結し、皆で良い海星を作っていきましょう。これからもどうぞご協力ください。よろしくお願いたします。

## 教科より

### 宗教科



イエス・キリストが十字架にかけられ、3日後に復活した奇跡を祝う「復活祭(イースター)」は、キリスト教で最も大切な祭日です。「復活祭」は基本的に「春分の日」の後の最初の満月の次の日曜日に祝われるため、年によ

って日付が変わる移動祝日となり、今年は4月9日にあたります。今月2月22日の灰の水曜日から四旬節(復活祭までの準備期間)に入ります。この期間に私たちの心が本当にどこに向かっているのかを問いかけ、自己中心から神と人々に向かう「心の転換」(回心)を呼びかけます。

『キリストの復活なくしては、キリスト教は存在しない』とさえ言われるこのキリストの復活は、誰もが認めることのできる死後の単純な出来事の一つではありません。蘇生とか、輪廻転生のようなことではないからです。キリストの復活は、モーゼや預言者たちのことばに耳を傾けない限り受け入れることのできない神のみの「業」なのです。私たちが体験している今の「いのち」からは、「復活」を予想することはできません。しかし2000年前、使徒たちは疑い得ない現実として体験したのです。日本での「死」や「死後」についての考え方は、の思想によるものが大きな影響を及ぼしていますが、キリストの復活は、神学的には、新約聖書の伝える原始教会のことばと教会の伝統的な典礼の中から結論づけられます。今の私にはまだよく理解できませんが、ただ、神を信じる者の一人として言えることは、「復活祭」を過去の出来事として祝うのではなく、キリストが今現在も、復活しておられるという認識をもって、喜びをもって祝いたいと思っています。ですから、キリストの復活を滅びることのない現実とし

て受け入れ、この現実の光でもって、自分の生死を、未来を、新しく見直し、神のいのちに与ればと願っています。

アシジの聖フランシスコの『平和を求める祈り』の中に「人のために自分をささげることによって永遠に生きることができるからです(死してこそ永遠のいのちに復活するのです)」とあります。永遠の神のいのちは、ギリシャ語の「ゾーエー」。死から復活した時、私たちは、生理的な活動をするようなものではなく、あらゆるものから清められたもの、光り輝くもの、変容したものとして神の限りない「いのち」に与れるというのです。

神のことばによってキリストの復活を信じる人は、キリストが復活されたことによって、単に「死」が解決ではなく、新しいいのちの扉を開き、神のいのちの中に永遠に生きることになるということを感じて、今を生きているといえるでしょう。

### 情報科より

最近、ニュースで時々耳にするようになった「スマホ認知症」という言葉をみなさんはご存じでしょうか。目的はないけど、暇になったらとりあえずスマホを触ってみる。連絡が来ているわけでもないし、連絡をするわけでもないけど SNS を開いてみる。ちょっとメモを取りたいときにスマホで写真撮影する。気になることがあればすぐにスマホで検索する……。ほんの10数年で、私たちの生活にすっかり浸透したスマートフォンですが、その便利さの裏で、スマホの使いすぎで脳が疲れてしまう「スマホ認知症」が急増しています。スマホがないと落ち着かないとか、漢字や物事がぱっと思い出せないとか、まるで認知症のような状態になることから「スマホ認知症」と呼ばれているそうです。ちなみにこれは若者に限ったことではなく、大人にも起こりえる現象です。

本校では一人一台端末を導入しており、学校の間、生徒は自由にタブレットを使うことができます。



休み時間や授業時間を思い出してみるとどうでしょう。わけもなくタブレットをずっと使っていませんか？

私は情報科の教員ですが、スマホやパソコン、インターネットなどの情報メディアを完全に良いものであるとは考えていません。上手に使えば、世界中のいろんなことを知ってつながることができ、新しいものごとを生み出すことができるのが情報メディアの利点ですが、依存してしまえば、成績の低下や日常生活に支障をきたしてしまうという欠点もあります。情報メディアは毒にも薬にもなりえます。今一度自分の生活を見直してみて、少し情報メディアから離れる時間を作ってみてはいかがでしょうか。情報メディアと上手に付き合い、豊かな生活を送りましょう。

**「スマホ認知症」危険度チェックリスト**

<input type="checkbox"/> スマホはいつも手元にスタンバイ	<input type="checkbox"/> 「話題のニュース」3つ挙げられない
<input type="checkbox"/> 時間が空いたらスマホを取り出す	<input type="checkbox"/> 最近、漢字が書けなくなった
<input type="checkbox"/> 疑問が浮かんだら、すぐ検索	<input type="checkbox"/> 最近、簡単な計算を間違える
<input type="checkbox"/> 覚えておくために「写メ」を撮る	<input type="checkbox"/> 検索すればわかることは覚ええない
<input type="checkbox"/> スマホなしでは初めての場所へ行けない	<input type="checkbox"/> スマホに頼り、道を覚えられない
<input type="checkbox"/> スマホ以外で調べものをしていない	<input type="checkbox"/> 頭も体も、いつも疲れている
<input type="checkbox"/> いつも時間に追われている	<input type="checkbox"/> イライラして、感情を乱す
<input type="checkbox"/> 情報に乗り遅れることが怖い	<input type="checkbox"/> いつも睡眠不足状態
<input type="checkbox"/> 着信音やバイブレーションの空耳が聞こえる	<input type="checkbox"/> 体中に様々な不調を抱えている
<input type="checkbox"/> 夜、ふとんの中でスマホをやっている	<input type="checkbox"/> 集中できず、凡ミスが増えた
<input type="checkbox"/> ここ数年、物忘れが増えた	<input type="checkbox"/> やる気が起きず、興味も湧かない
<input type="checkbox"/> 知っている人の名前がすぐに思い出せない	<input type="checkbox"/> すく落ち込む
<input type="checkbox"/> 何かを取りに来た、その目的を忘れる	<input type="checkbox"/> 段取りが悪くなった
<input type="checkbox"/> 約束をド忘れする	<input type="checkbox"/> 最近、あまり笑っていない
<input type="checkbox"/> 3日前、何していたか思い出せない	<input type="checkbox"/> 季節の移り変わりに鈍感になった

危険度 **20個以上** **★** **19~10個以上** **中** **9個以下** **小**

### 部活動より

#### バトン部



2022年はバトン部にとって濃い1年となりました。11月3日にクロスパルこがで行われた福岡県高等学校総合文化祭に

出場し、「最優秀賞」をいただくことができ、今年の夏に広島で開かれる全国大会に推薦していただきました。12月10日には幕張メッセにて第50回バトントワーリング全国大会が行われ、3年ぶりに出場するこ

とができ、見事「金賞」をとることができました。この2年間、なかなか結果が出せず苦しい時間を過ごしましたが、やっと結果に繋げることができました。3年生はコロナ禍で入学し、大会も延期や中止が続いた中ここまで頑張ってくれたことを誇りに思います。厳しい練習を乗り越えたから得ることができた結果だと感じています。たくさんの方々に応援していただき、頑張ることができました。ありがとうございました。2023年も引き続き頑張っていきたいと思います！

#### 陸上競技部

陸上競技部は7月に3年生が引退し、2年生2人の新体制が始まりました。練習には引退した3年



生も積極的に参加してくれており、後輩たちのサポートをしてくれています。また3年生は引退してもなお大会に出場し、入賞を果たすなど結果を出してくれています。2年生に関しても春に行われる大会に向け、学業が忙しいながらもこの冬の間の体づくりに精一杯励んでいます。来年度に入学する新入生とともに良いチームがつかれるよう、しっかりとサポートをしていきたいと思いますので、応援よろしくお願ひします。

#### 来月の行事

- 3月2日 卒業式
- 3月2日～14日 オーストラリア短期研修
- 3月16日 修了式

#### 本校のSNSをフォローしてください

下のQRコードを読みとってください。

